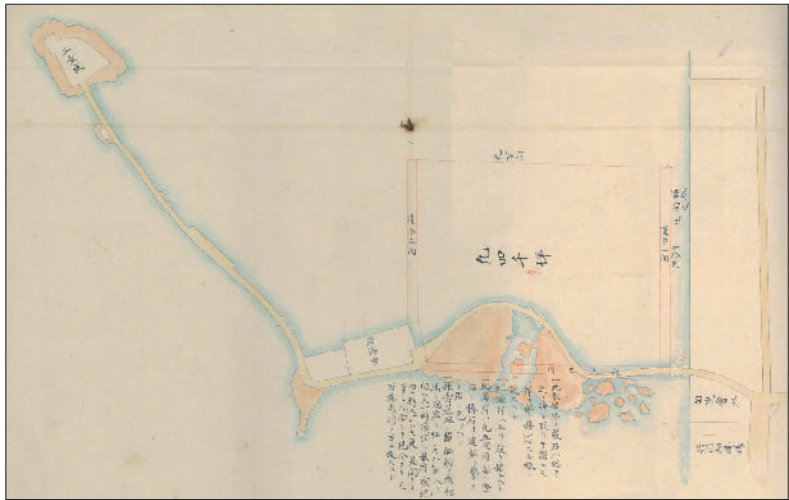




横内家資料展

「横内扶」近代沖縄を遺した男②

開催中の横内家資料展で展示している史料の中に、「埋立地之儀二付願」があります。これは明治21年(1888)5月21日付けで沖縄県知事宛に出されている土地埋立申請書で、申請者は鹿児島系寄留商人と思われる田代静之助です。申請書によれば、那覇港から三重城へ至る道路は狭く曲がりくねっているため、道を広め、直道にするとともに埋立を行い、一帯の土地所有を願うものです。

この申請は同年6月28日付けで不許可となっていますが、申請書に添付されている図面は、三重城・臨海寺の位置関係、三重城へ至る突堤の様子を把握するのに非常に貴重な史料です。

また、美術工芸品の中から今回は書と陶磁器を展示しています。書は、第八代沖縄県知事の奈良原繁(1892-1908)が祝賀の席や友人との別れを惜しんだ内容の和歌や日露戦争を題材としたものなど、軸物と短冊五首を紹介しています。これらは、当時の奈良原の交友関係や思想などを窺い知ることができるとなっています。

さらに陶磁器は、湖東焼や、扶が県庁赴任時代に買い求めたと思われる帖佐焼、錦手の皿などを紹介しています。井伊家の藩窯で1842-1862年の約20年の間に製作された湖東焼や薩摩の藩窯のあった帖佐村(宇都(現始良町)で焼かれた帖佐焼など)は、いずれも貴重な作品です。

那覇市歴史博物館
那覇の歴史・文化を体感!

時間/午前10時～午後5時(入場自由) 場所/防衛省航空自衛隊那覇基地



各種イベント紹介

- 各種航空機の展示飛行と地上展示
ブルーインパルス・F-15戦闘機・F-4戦闘機・T-4練習機・UH-60・P-3・C-1・YS-11・U-4など
- ベトリオット、基地防空火器の展示
- スタンブラリー・ミニSL・戦闘機と綱引き・操縦席体験・消防車射的・広報展示・ヒエロパフォーマンス・バンドなどのライブetc
- コンサート/南西航空音楽隊



お問い合わせ

航空自衛隊那覇基地 TEL.098-857-1191(内線3291)
那覇基地はゆいレール赤嶺駅から徒歩5分
(駐車場は、那覇軍港にご用意。那覇基地まで無料シャトルバスで送迎。)
基地内には、一般駐車場はありません。

火災予防は一人ひとりのところかけ
～第21回防火ポスターコンクール表彰式～

沖縄の陶器の発祥地・壺屋で、地域の人々による手作りの祭り「壺屋やちむん通り祭り2007」が11月2日(金)から3日間の日程でにぎやかに開催され、通りは壺屋さんしんクラブの演奏や道ジュネーなどで、大いに盛り上がりました。祭り期間中は、壺屋焼が特別割引で購入できたほか、ロクロ無料体験コーナーなどがあり、職人さんに手ほどきを受けながら、ロクロを回す子どもたちの一生懸命な姿に、会場を訪れた翁長市長も目を細めていました。

地域のぬくもりを満喫
～壺屋やちむん通り祭り2007～あでやかに古式行列
～第42回琉球王朝祭り首里～

文化の日の11月3日(土)、正月3日に琉球国王が、首里の3つの寺(円覚寺、天王寺、天界寺)を参詣する行幸を再現した古式行列が行われ、地域住民ら約三百人が、王朝時代のあでやかな衣装に身を包み、首里の町を練り歩きました。今年の古式行列には、初めて国王と王妃が参加。御轎に乗って、まるで、絵画から飛び出してきたような、勇しい国王と美しい王妃の姿が、沿道を埋め尽くした大勢の観客を魅了していました。

沖縄の自然・歴史・文化・芸術を展示する県立博物館・美術館が11月1日(木)、おもろまちに開館しました。県立博物館・美術館は、首里から移転した博物館と新設された美術館との複合施設で、収蔵品を展示するスペースのほか、講演会などが行える講堂も完備し多目的に利用できます。開館を記念して、博物館では「人類の旅」港川人の来た道、美術館では「沖縄文化の軌跡1872-2007」を開催しています。

自然・歴史・文化・芸術がひとつに
～県立博物館・美術館開館～